

授 業 科目名	入門（政治学）	選 択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	専門科目／教科に関する科目（公民・社会）					
サブ タイトル	政治学の基礎を学ぶ		担当者	鈴木 亨尚		
講義概要	<p>【概要】 毎回、高校の「政治経済」あるいは「現代社会」の「政治」の内容・レベルから始め、「政治学」のごく基礎的な内容に及ぶことにより、これ以降の政治学の本格的な学習に備えることを目的としている。授業は、まず、講義を行い、次に、問題演習を行い、最後に、次回授業で小テストを行い、知識の定着を確認するという形で進めていく。時事問題に関する授業も予定している。</p> <p>定期試験は、授業でやることをおおよそそのまま出題する。毎回、授業に出席し、小テストの準備を行っていただければ満点に近い点数がとれるようなレベルである。積極的な履修を期待したい。</p> <p>【到達目標】 政治学の基礎を理解し、定期試験で最低でも 60 点がとれるようになること。</p>					
履修条件	特になし。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】 特になし。当方で、レジュメを用意する。</p> <p>【参考書】 特になし。</p>					
授業回数	内容					
1	民主主義の原理、社会契約説					
2	人権保障の展開、法の支配					
3	小テスト(民主主義の原理～法の支配)、議院内閣制					
4	大統領制、社会主義国の政治制度					
5	小テスト(議院内閣制～社会主義国の政治制度)、国会					
6	内閣					
7	小テスト(国会～内閣)、裁判所、司法改革					
8	地方自治、地方分権、住民投票・地方の改革					
9	小テスト(裁判所～住民投票・地方の改革)、政党					
10	選挙制度					
11	日本の戦後政治、選挙制度改革					
12	小テスト(政党～選挙制度改革)、時事問題(1)2009 年分					
13	時事問題(2)2010 年分					
14	時事問題(3)2011 年分					
15	まとめ					
評価方法	小テスト 50 点、定期試験 50 点。					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できたものには A を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて B または C とし、単元の内容についての理解自体が不十分なものはその程度に応じて D または E とする。					
その他	特になし。					